

第37回 第3章 現代社会の諸課題

第1節 日本社会の諸課題

講師

升野伸子

少子高齢社会において社会保障はどうあるべきか？

学習のねらい

日本は世界で一番高齢化率が高く、この先もどんどん高齢化が進むことが予想されています。このようななか、高齢者が生活しやすいしくみづくりと、生まれてくる子どもを増やすことが必要です。そのためには、今後必要とされる社会保障のしくみはどのようなものなのか、考えていきましょう。

.....

調べておこう
覚えておこう

寿命／医療／両立／労働時間／結婚しない人／年金／子ども

※下記の空欄 _____ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

POINT 1

少子高齢社会の現状は？

少子化というと、「兄弟姉妹の数が減ってきている」と思うかもしれませんが。しかし日本では、子どもが2人の家庭は、子どものいる家庭の半分以上です。でも、1人の女性が一生に産む子どもの数は、1.5人より少なくなっています。その理由は、^① _____ が増えているからです。今、日本の未婚率はどんどん上がっているのが現状です。

高齢社会となっているのは、^② _____ の数が減っているので高齢者の比率が増えてしまうことと、^③ _____ の伸びが原因です。

POINT 2

高齢社会と社会保障

日本の高齢者の比率は世界一です。その理由の一つに、「^③ の伸び」があり、多くの人が長生きできるようになりました。長生きできるのはうれしいことですが、生活していくにはお金が必要です。高齢者の多くは、^④ _____ を受け取っています。また、介護や^⑤ _____ のためのお金もかかっています。高齢者のために使われる税金は、税収の3分の1にあたるおよそ20兆円です。今後、高齢化率が高まると、ますます多くの税金が必要となり、「持続可能な社会保障制度」ではなくなってしまうことが心配されています。そこで、高齢者が働きやすいしくみなどをつくっていくことが求められています。



POINT 3

少子化対策

外国には、出生率が 1.9 人程度にまで回復した国がいくつかあります。それらの国に共通していることは、出産や子育て、仕事に対する「幅広い選択肢」のある社会です。結婚や子育てと、仕事が^⑥.....できる社会をつくっていくことです。保育所を充実させたり、労働時間を減らしていくことが、その具体例です。また、女性だけでなく、男性の^⑦.....の短縮も必要です。高齢者に対して社会で保障している国は、同時に家族に対しても保障をしていく必要があります。誰もが、子育てしやすい社会をつくっていくことが、少子化対策につながっていくのです。



Blank lined area for writing notes.

答え
①結婚しない人 ②子ども ③寿命 ④年金 ⑤医療 ⑥両立 ⑦労働時間